

# 御嵩町 手をつなぐ 親の会会報

第2号

発行  
御嵩町手をつなぐ  
親の会  
編集部  
広報部  
昭和57.9.30

## 理解と努力を

教育長 豊吉 貢

手をつなぐ親の会が、町民の皆さんのご理解によつて昨年発足致しました。

皆さんのご協力に心からお礼を申し上げます。

今後共心身に障害をもつ子ども達が、いろいろな苦難に打ち勝つ強い心が養えるように、また家族の皆さんに対して心からの、はげましになるように深いご理解をお願い致します。

世の中に人と生まれて、幸せを願わないものはありません。まして人の親として子どもが、からだも心も、すこやかに育つことを願わぬものはないと思います。

現在全国で出生児の約4%位が心身に障害をもつて生まれてくるといわれます。

「障害児をもつた人でなければ、ほんとうの苦しみはわからない。」という家族の方達の声を聞いたことがあります。正にその通りかもしれません。

私達はこの言葉の重みをよくかみしめ形だけでなく心から、この子達の幸せのために努力し合いたいと思います。

しかし心身に障害を持ちながらその苦難をのりこえて立派に自立している人も多くあります。

そのためには早い時期から、子どもの能力を引き出すために、その子に適応した教育が必要であるといわれ、昭和54年から養護学校の義務制が施行され、障害をもつ子ども達の教育の

場が広がつきました。

当町では医師、児童相談所、教育関係者等で就学指導委員会がつくられ、子ども達の就学について必要な調査や相談にあたるとともに、特殊教育を必要とするものの、判定をしています。

父兄の皆さんにも本人の自立のために、その子に適応した学校に入学させるような、ご理解も合せてお願い致します。

## 町手をつなぐ親の会 活動経過のあらまし

昨年度町民各位のご理解とご協力により発足して2年目を迎えた「御嵩町手をつなぐ親の会」は、さらに細かく本会の趣旨をご理解いただくよう、「加入のおねがい」のチラシにも工夫を凝らし、今年は去る6月24日に役場で役員総会が開催されました。当日は多数の来賓にご臨席をいたゞき、心強い祝辞を賜わり、一同意を強くいたしました。ここに、本年度の主な事業や予算について、役員総会の承認事項としてご報告します。

## 57年度会費納入状況

S 57.7.1 現在

地区	世帯数	会費
上之郷	570	107,600
御嵩	975	139,600
中	1,480	264,200
伏見	1,218	210,400
計	4,243	721,800

# 御嵩町 手をつなぐ 親の会会報

第14号

発行  
御嵩町手をつなぐ  
親の会  
編集  
広報部  
昭和62.7.15

## =会長あいさつ=

町長 平井 儀男



今から6年程前に向陽中学校より提案されて設立された御嵩町手をつなぐ親の会が、設立時の精神を失わず、充実した活動を展開されて住民の理解の輪が着々と広がり、多数の人達による支援体制が年々強化されている事に心からお喜び申し上げます。障害をもっていても必死に生きようとする子ども達の姿に接した時、生き／

ることの尊さが胸に迫ってきます。たとえ医学が進んでも、障害をもつ子どもが皆無になることは残念ながらありません。そればかりか、交通事故の多発に見られるように、いつ何時障害者になるとも知れません。手をつなぐ親の会の設立主旨が、社会の各層に広がり社会全体に理解が深まる事を祈念してあいさつと致します。

## 昭和61年度手をつなぐ親の会 —事業報告—

4月16日 特殊学級担任連絡会（御嵩小学校）	6月26日 特殊学級担任研修会（御嵩小学校）
5月2日 常任委員会 （御嵩町役場）	7月15日 第1回会報発行
61年度事業計画と予算案審議	9月19日 施設事業所見学
役員総会に関して	青木縫製KK（羽島市）
5月16日 役員総会 （御嵩町役場）	各務原養護学校見学
60年度事業報告及び決算報告	11月20日 教育講演会 （御嵩小学校）
61年度事業及び予算案の審議	元笠松刑務所教育課長
専門部会	後藤 久子先生
部長、副部長の選出	「考え方直す教育を」
活動計画の審議	…非行防止のために…
5月～6月	2月20日 親と教師の座談会 （向陽中学校）
会員募集（会費の集金）	当面の課題に関する交流会
5月30日 町内特殊学級社会見学 （犬山ラインパーク）	3月10日 第2回会報発行
6月17日 親と教師の座談会 （伏見小学校）	